

2020年 1月 6日
No. 2062
働くルールの確立で
人間性の回復を

明治乳業争議団 ニュース

発行 明治乳業争議団
連絡先 〒272-0015
千葉県市川市鬼高2-6-2
☎・Fax 047-332-5698
E-mail mjnyu88sgd@wing.ocn.ne.jp
HP 明治乳業争議団 ⇒ 検索

—オリ・パラ競技大会の年、経営判断迫る総力戦を— 解決局面を拓く歴史的な新春に



明けまして
おめでとうございます

二宮町 吾妻山山頂からの眺望



明治乳業争議支援共闘会議
議長 松本 悟 千葉労連顧問

明けましておめでとうございます。明治乳業賃金差別事件は、35年間の命がけのたたかいで解決局面を切り開いています。中労委は、人権侵害と賃金格差を認定し、争議解決を会社に求めました。東京地裁も東京高裁も和解解決を求めましたが、株)明治は、未だに話し合いに応じません。株)明治の学乳異臭隠蔽事件、高力カオチヨコとR-1誇大広告は、国会で追及され消費者の不買につながっています。その結果、株)明治の4~9月期決算は、純利益減、株価は低迷したままで経営責任が問われています。株)明治の悲願であるオリ・パラ商法と世界進出低迷の原因は、食の安全と社員の人権を守らないからです。私たちは、話し合い解決を求めています。



明治乳業争議団
団長 小関 守

重要局面で新年を迎えました。東京高裁の和解勧告(昨年10月15日)を契機に、全面解決の道筋に向け奮闘中の明乳争議ですが、一切の理由を示すことなく裁判長から突然、「和解打ち切り」の連絡(12月20日)が入るなかでの年明けです。争議団と支援共闘会議及び弁護団は議論を重ね、高裁に和解指揮の責任ある継続を求めると同時に、会社包囲運動に総力を挙げる決意で新年を迎えました。明治グループが世界市場への飛躍をめざすオリ・パラ競技大会の年であり、世界に通用する企業体質への脱皮に向け長期争議を抱えるリスク判断が厳しく迫られます。株主総会(6月)を視野に全面解決への総力戦の年、悔いの残らない闘いへの決意を申し上げ、新年のご挨拶とします。

長期争議解決に 寄せられた励ましの言葉

- ◎ 働く人の人権」と 食の安全・安心」を守る闘いご苦労さまです。微力ですが応援しています。
- ◎ 奮闘ご苦労さまです。本当にご苦労さまです。お元気で頑張ってください。
- ◎ 明治乳業の食と安全安心して働ける職場めざしてがんばる皆さんに、敬意を表します。がんばりましょう。
- ◎ 冷蔵庫にチラシ貼りました。社長にFAXしました。長期争議の早期解決を願います。ガンバロー！
- ◎ 永年の闘い本当にご苦労さまです。FAXエラーで遅れませんが、同封します。少額ですがお送りいたします。
- ◎ 長期の闘いで大変なご苦労ですが、頑張ってください。
- ◎ 和解勧告を経営側が受け入れられるようもうひと踏ん張りですね！応援します。
- ◎ 諦めないことが勝利への道。大変ですが頑張ってください。
- ◎ 食を担う社員の勇気ある奮闘に敬意を表します。少ししかお手伝いできませんが、頑張ってください。年金暮らしてちょっとキツイけど、負けられません。
- ◎ スーパーなどの陳列棚に並ぶR-1を見るとこんな高価なのに、果たしてそれだけの効果があるのか買い控えるようになりました。
- ◎ よい結果勝ち取るまで、健康に留意してたたかきましょう。

明治乳業争議支援共闘会議「総会」

日時 2020年1月31日(金)
午後3時~
会場 東京労働会館(地下会議室)

明治乳業争議団「旗びらき」

日時 2020年1月31日(金)
午後6時~
会場 ラパスホール
会費 3,000円
(解雇者1000円)



東京高裁「職権和解・打ち切り」、判決1月30日を受けて皆さんと一緒に新たな闘いを確認する「団結のつどい」とします。是非、ご参加よろしくお願ひします。

全国運動募金へのご協力をお願いします

この間、市川工場(32名)、全国9事業所(32名)事件のたたかいは36年目を迎えました。全国事件中労委命令は主文(棄却)でしたが、不当労働行為と差別の存在を「紛れもない事実」と認定する。東京地裁から2度にわたる「和解勧告」を会社は拒否。東京高裁から「職権和解」が提起されるも厳しい内容でしたが、「和解打ち切り」の判断。闘いが更に長引くことになる様相です。

つきましては、全国運動を支える資金カンパにご協力ご支援をお願い申し上げます。

【振込先】郵便00170-7-555867
【加入者名】「明治乳業食の安全と職場を考える実行委員会」

明治乳業争議支援共闘会議・明治乳業争議団

今後の日程 ご参加ご支援よろしくお願ひします

- 第49次 座り込み行動
(株)明治(京橋エドグラン)
1月22日(水) 12時~13時
- 第50次 座り込み行動
(株)明治(京橋エドグラン)
2月19日(水) 12時~13時
- 東京高裁 判決日
1月30日(木) 13時25分
424号法廷

株式会社明治・明治HDへ 抗議の不買署名にご協力を！

中労委命令「付言」を法的拘束力はないと背け、東京地裁からの「和解勧告」をも拒否。東京高裁定塚誠裁判長の「職権和解・解決金ゼロ、謝罪なし」を提起するも、無責任に「和解打ち切り」を宣告、判決を迎える。



食の安全を守らせる全国の会呼びかけの争議が解決するまでは「明治の製品は買わない、飲み・食べない」不買署名運動を拡散して、争議解決を迫りますのでご協力下さい。

◆明治HDに直接FAX可、
03-3273-4010
又は争議団事務所までお送り下さい。

35年争議解決めざし奮闘しました 2020年新たな決意でがんばります

争議が解決するまで明治の製品は買わない、飲み・食べない、不買宣言」宣伝を行う。JR松戸駅6月16日



2019年「解決に待ったなし」の年として開催しました旗開き。争議団歌「星霜」を歌い決意を固めました。1月26日



継続する第48次座り込み行動は丸4年、自主的解決を求め延べ69日間1284団体・2737人、93時間40分の時間をかけた闘いを進行中。12月16日



2020東京オリ・パラ組織委員会前で宣伝。人権侵害、不祥事多発の経営でゴールドパートナー契約(150億円)。IOCとILOが「覚書」労働・人権条約、法令順守を締結。その精神に則り争議を解決させよと10回の情報提供を重ねる。12月16日



京都都団結祭りは、国鉄闘争から引き継がれた境内を借用して毎年実施。明乳京都争議団・加藤副団長が訴える。11月23日



明治HD第10回株主総会会場前で35年争議解決に向け経営陣と株主に呼びかけました。解決に真摯に向き合うことを求め、事前質問書提出、会場発言を控え総会に参加しました。6月27日



全労連・東京地評争議支援総行動(株)明治に250人が中労委命令、職権和解に応じることを求める。12月5日



大阪労連争議支援総行動、明治HD筆頭株主・みずほ大阪支店へ100余名結集し要請行方。12月6日

「和解勧告」後の運動の到達点に確信を持ち解決に向け総力戦の新春 無責任な和解指揮を厳しく指摘し継続への「上申書」提出

和解勧告」を契機に 多様な運動で前進

高裁の和解案は「解決金ゼロ、謝罪ナシ」でしたが、35年争議に相応しい内容」を和解交渉の中で目指すことを確認し、和解指揮を誠実に受けとめ二つの角度から奮闘してきました。

① 一つは、裁判体との面談(10月29日)を行い、和解勧告に従い誠実に努力する決意を伝え、同時に2点の要請。② 和解の指揮を粘り強く続けて頂くこと。



東京高裁第3回口頭弁論(結審)判決日(10月29日)を定め「職権和解」の訴訟指揮。内容は、解決金ゼロ、謝罪なしと言う報告を聞き、参加者一同ふざけるなとの声。10月15日

決内容として中労委「付言」を考えて頂くこと)を求めました。裁判長は、和解は薄皮を一枚一枚取るように進めるもの、情勢変化があったら連絡してほしい」と述べました。しかしその後、和解に関する指揮が一切ない状態が続くなか、争議団は和解に向けた指揮を求める「上申書」(11月28日)を提出し、裁判長の指揮で双方が向き合える場の設定」等求めました。

① 二つは、裁判所の粘り強い和解指揮を前提に、(株)明治及び明治HDに二つの視点で決断を求める運動です。① 中労委命令が「紛れもない事実」と認定した集団間格差と、会社は非難を免れ得ない」とした不当労働行為の事実を受け入れ、35年争議に相応しい対応を行うこと。② 東京オリ・パラ大会を前に、長期争議を抱える経営上のリスク判断を行うことを様々なチャンネルで要請しながら、緊急FAX」運動の拡散と、明治の製品は「買わない、食べない」の大キャンペーン、様々な行動をユーチューブで発信する等々、会社包囲に向け可能な全てをやり切る決意で奮闘してきました。

和解打ち切り」に対し 「上申書」を提出

ところが突然、理由も示すことなく

和解打ち切り」(12月20日)の連絡です。緊急三者会議「争議団、支援共闘、弁護士」は、勧告後の経過に照らしでも「打ち切り」は異常との認識で一致。直ちに和解の継続を内容とする「上申書」(12月26日)を提出し、判決(10月30日)までの期間を有効に活用する和解の指揮」を強く要請し、裁判長の指揮で、当事者双方が真摯に向き合う場」の設定を重ねて強く求め、新年を迎えています。

都労委残留事件」で 打開めざす新年

争議団は全国事件の控訴審開始(18年12月)と同時に、全面解決への道筋を切り拓く決意を固め、都労委残留事件(市川事件26件、全国事件13件(39件))をも活用し、司法と労働委員会の立体的な闘いで局面打開をめざしてはいますが、根底には「このままでは終わられない」の強い決意があります。重要局面で争議団支援共闘・弁護士は議論を重ね困難を乗り越えてきましたが、和解「打ち切り」という新たな状況の突破に向け、この間蓄積してきた運動の到達点に確信を持ち、高裁に判決日の延期も含めて和解の継続を強く求め、同時に、都労委で局面打開を目指す積極的な闘いを組み立て、新春から奮闘する決意です。